

令和6年度水質検査計画

日高町水道事業（日高町簡易水道）

水質検査とは

水質検査は、水質基準に適合していることを確認するため不可欠なものです。
水質検査計画は、水質検査の適正化を確保するために、検査項目等を定めたものです。

1. 基本方針
2. 水道事業の概要
3. 原水及び浄水の水質状況及び水質管理上の問題点
4. 水質検査項目及び検査頻度、採水地点及びその理由
5. 臨時の水質検査
6. 水質検査の方法
7. 水質検査計画及び検査結果の公表
8. その他

1. 基本方針

- (1) 水質検査は、水質基準が適用される蛇口に加え、水源も行います。
- (2) 検査項目は安全及び法令を充分考慮して選定いたします。
- (3) 検査頻度は安全及び法令を充分考慮して定めます。
- (4) 水源に汚染等が起こらないよう常時監視を行います。

2. 水道事業の概要

(1) 給水状況

給水状況は、以下のとおりです。

| 区 分 | 内 容 |
|-----------|--------------------------------------------------------|
| 事業体の名称 | 日高町水道事業（日高町簡易水道） |
| 給水区域 | 日高地区（16.25km ³ ） |
| 計画目標年度 | 令和9年度 |
| 計画給水人口 | 1,330人（令和4年度末 1,181人） |
| 計画1日最大給水量 | 1,370m ³ /日（令和4年度実績 1,175m ³ /日） |
| 1日平均給水量 | 826m ³ /日（令和4年度実績 922m ³ /日） |

(2) 浄水施設

日高町水道事業（日高町簡易水道）には浄水場が2カ所あります。

| | |
|-------------------------|---------------------------------------------------|
| 浄水場名 | 日高浄水場 |
| 通水年月 | 昭和38年10月 |
| 水 源 | 沙流川水系パンケウシャップ川支流 ホロカワウシャップ川表流水 |
| 水利権（m ³ /日） | 1,607（m ³ /日） 1,257（m ³ /日） |
| 給水能力（m ³ /日） | 1,460（m ³ /日） |
| 主な浄水処理方法 | 緩速ろ過 塩素消毒 |
| 主な浄水処理薬品 | （消 毒 剤）次亜塩素酸ナトリウム |

| | |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 浄水場名 | 千栄浄水場 |
| 通水年月 | 昭和61年1月 |
| 水 源 | 地下水（浅井戸） |
| 水利権（m ³ /日） | なし |
| 給水能力（m ³ /日） | 165（m ³ /日） |
| 主な浄水処理方法 | 急速ろ過 塩素消毒 |
| 主な浄水処理薬品 | （凝 集 剤）ポリ塩化アルミニウム(PAC) （アルカリ剤）苛性ソーダ （消 毒 剤）次亜塩素酸ナトリウム |

3. 原水及び浄水の水質状況及び水質管理上の問題点

原水の状況

日高水源

(1) 国有林であるが施業計画により、林道開設伐採等により、山林が荒れ降雨により濁度が高くなる。他に汚染要因となるものは特になく問題はない。

(2) 原水水質で留意すべき状況

次表に示す。

| 浄水場名 | 日高浄水場 |
|---------------------------|--------------------------------|
| 原水の汚染要因 | 降雨、融雪時による濁水の発生 |
| 水質管理上注意すべき項目 | 特になし |
| 浄水場使用薬品及び資機材からの由来で注意すべき項目 | 臭素酸・塩素酸（次亜塩素酸ナトリウムに不純物として含有する） |

千栄水源

(1) 上流域は国有林であり汚染要因となるものは特になく問題はない。

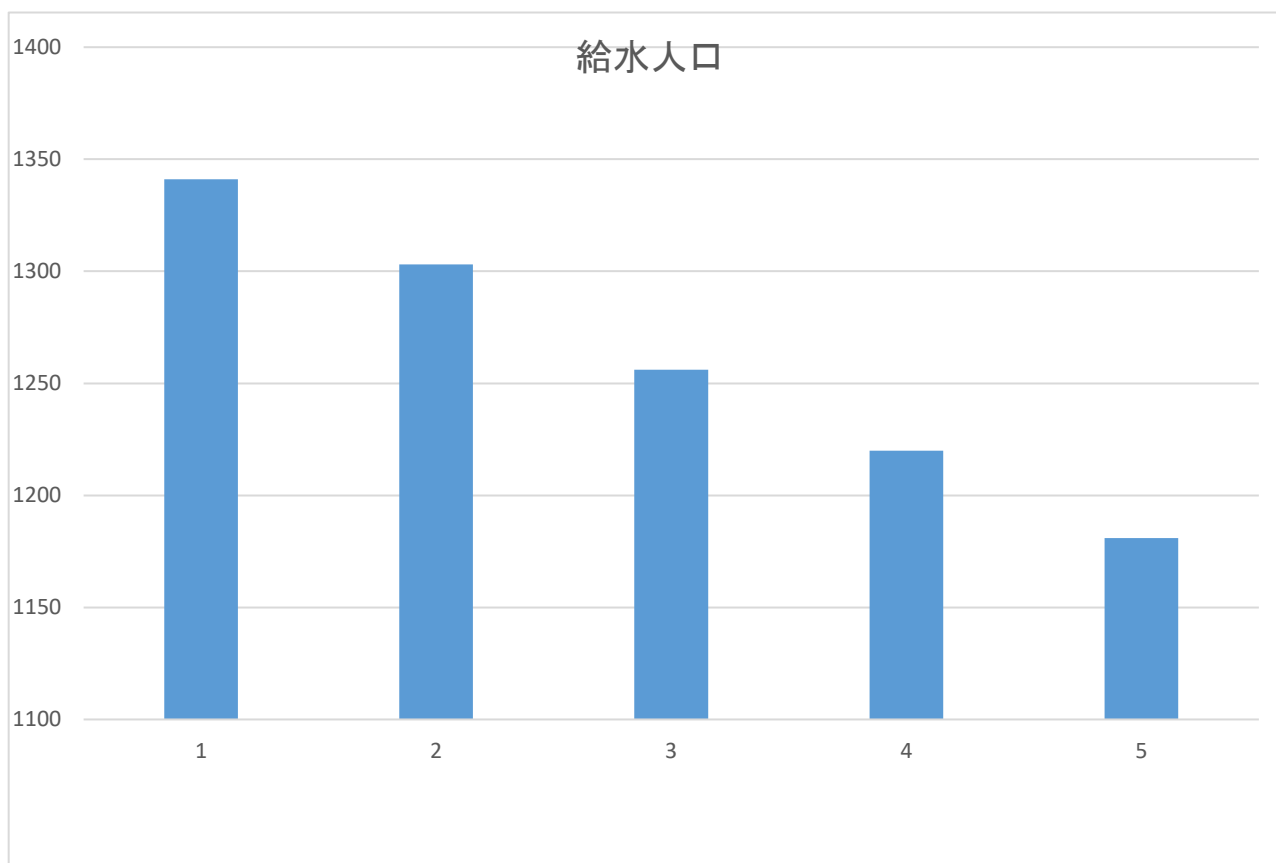
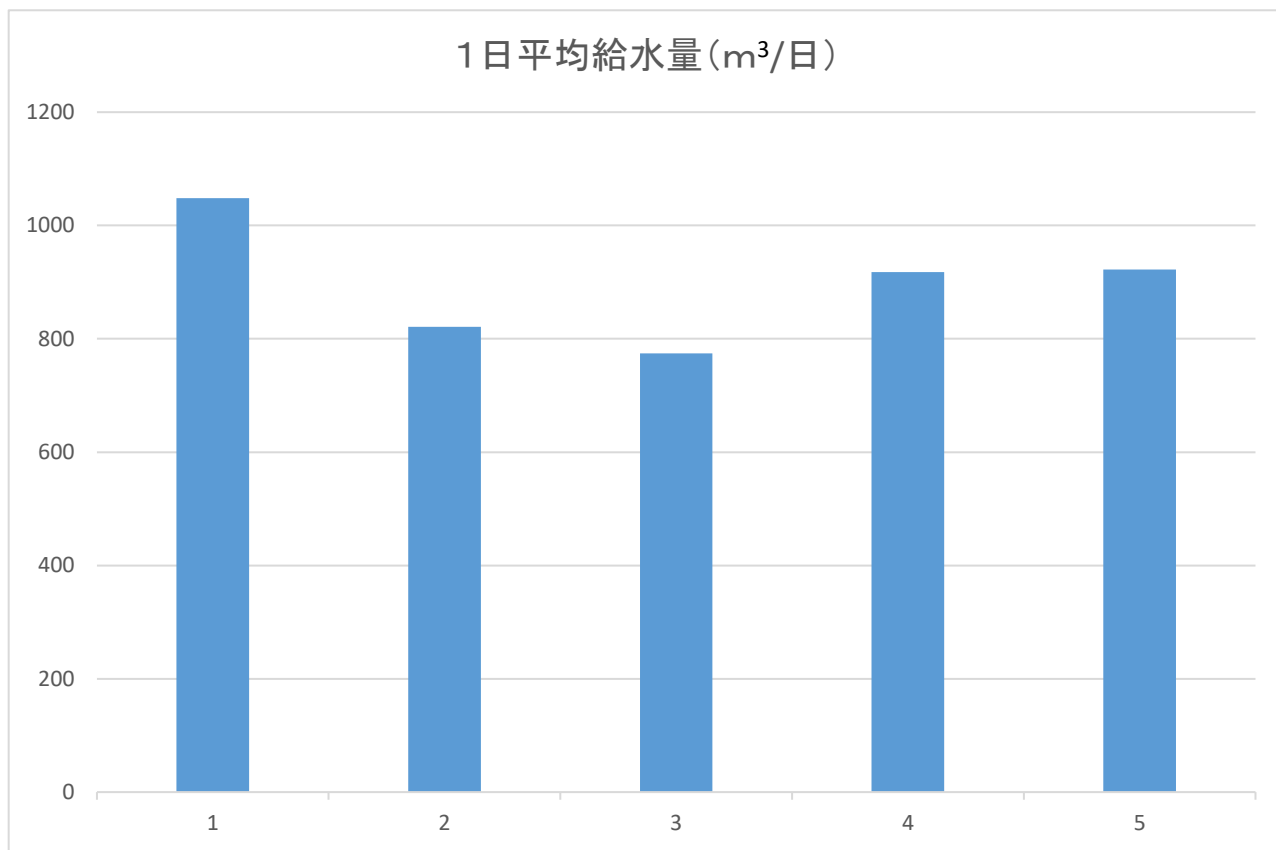
(2) 原水水質で留意すべき状況

次表に示す。

| 浄水場名 | 千栄浄水場 |
|---------------------------|--------------------------------------------------|
| 原水の汚染要因 | 特になし |
| 水質管理上注意すべき項目 | 一昨年度より、水源の種別・浄水方法の変更をしていることから、水質管理には十分な注意が必要である。 |
| 浄水場使用薬品及び資機材からの由来で注意すべき項目 | 臭素酸・塩素酸（次亜塩素酸ナトリウムに不純物として含有する） |

(3) 水道水(浄水)の状況

今までの水質検査結果より、水質基準を十分満たしており、安全で良質な水道水をお届けしています。



4. 水質検査項目及び検査頻度、採水地点及びその理由

適用範囲 日高町水道事業（日高浄水場・千栄浄水場）

適用期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

(1) 浄水の水質検査項目及び検査頻度

1. 水質検査項目

法令に基づく水質検査表(1)において水質基準項目(51項目)の水質検査を行います。なお、法令に基づく水質検査表(2)の1日に1回行う検査についても検査を行います。

2. 検査頻度

検査頻度の決定については、水道法施行規則第15条第1項の3にて行いました。

ア 法令に基づく水質検査表(1)のうち、濃度が1/10以下の場合3年に1回まで緩和することができる項目についても水質が安定し良好であることを確認するため51項目すべての検査を年1回行います。

イ 法令に基づく水質検査表(1)の項目1、2、11、34、38、46～51の検査は、毎月1回(1回はアに含む)行います。(一般検査)

ウ 法令に基づく水質検査表(1)の項目10、21～31の検査は、年4回(1回はアに含む)行います。(消毒副生成物)

エ 法令に基づく水質検査表(2)の色、濁り、消毒の塩素効果(残留塩素)の検査は1日1回行います。

(2) 原水の水質検査項目及び検査頻度

1. 水質検査項目

法令に基づく水質検査表(1)において水質基準項目のうち厚生労働省課長通知に基づき消毒副生成物である21～31、48を除く39項目の水質検査を行います。

2. 検査頻度

ア 法令に基づく水質検査表(1)の39項目検査を各水源にて年1回行います。

イ クリプトスポリジウム等の検査を各水源にて年4回行います。

ウ クリプト指標菌の検査を各水源にて毎月1回行います。

エ 管理目標設定項目検査表(3)の項目31の検査を年1回行います。

(3) 採水地点及びその理由

日高簡易水道 日高浄水場

| | |
|----------|------------------------------------------|
| 浄水(給水栓水) | |
| 採水地点 | 沙流郡日高町本町東3丁目229番地の1 日高町日高総合支所庁舎内 給水栓 |
| 選定理由 | 公共の施設であり、常時採水が容易で使用量も多く、水質の把握が常にできることから。 |
| 原水(水道水源) | |
| 採水地点 | 沙流郡日高町宮下町3丁目437番地の4 日高浄水場内 着水井 |
| 選定理由 | 浄水場に取水した原水で水質把握の代表的な場所であることから。 |

日高簡易水道 千栄浄水場

| | |
|----------|------------------------------------------|
| 浄水(給水栓水) | |
| 採水地点 | 沙流郡日高町字千栄106番地の3 千栄防災倉庫内 給水栓 |
| 選定理由 | 公共の施設であり、常時採水が容易で使用量も多く、水質の把握が常にできることから。 |
| 原水(水道水源) | |
| 採水地点 | 沙流郡日高町字千栄360番地の6 千栄浄水場内 着水井 |
| 選定理由 | 浄水場に取水した原水で水質把握の代表的な場所であることから。 |

法令に基づく水質検査表
水質検査表（１） 水質基準

| 項目 | | 基準値 | 原則頻度 | 法的検査回数減 | 項目の概要 | | | | |
|----|----------------------------------|---------|------------|------------------------------|--------|----------|-------|------------------------------|-------------|
| 1 | 一般細菌 | 100個/ml | 月1回 | 月1回 | 病原微生物 | 健康に関する項目 | | | |
| 2 | 大腸菌 | 不検出 | | | | | | | |
| 3 | カドミウム及びその化合物 | 0.003 | 3ヶ月1回 | 一定要件を満たす場合は検査回数を減じることができる。*1 | 金属類 | | | | |
| 4 | 水銀及びその化合物 | 0.0005 | | | | | | | |
| 5 | セレン及びその化合物 | 0.01 | | | | | | | |
| 6 | 鉛及びその化合物 | 0.01 | | | | | | | |
| 7 | ヒ素及びその化合物 | 0.01 | | | | | | | |
| 8 | 六価クロム化合物 | 0.02 | | | | | | | |
| 9 | 亜硝酸態窒素 | 0.04 | | | | | | | |
| 10 | シアン化物イオン及び塩化シアン | 0.01 | | | | | 3ヶ月1回 | 3ヶ月1回 | 無機物質・消毒副生成物 |
| 11 | 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 | 10 | | | | | 3ヶ月1回 | 一定要件を満たす場合は検査回数を減じることができる。*1 | 無機物質 |
| 12 | フッ素及びその化合物 | 0.8 | | | | | | | |
| 13 | ホウ素及びその化合物 | 1 | | | | | | | |
| 14 | 四塩化炭素 | 0.002 | | | | | | | |
| 15 | 1,4-ジオキサン | 0.05 | | | | | | | |
| 16 | シス-1,2-ジクロロエレン及びトランス-1,2-ジクロロエレン | 0.04 | | | | | | | |
| 17 | ジクロロメタン | 0.02 | | | | | | | |
| 18 | テトラクロロエチレン | 0.01 | | | | | | | |
| 19 | トリクロロエチレン | 0.01 | | | | | | | |
| 20 | ベンゼン | 0.01 | | | | | | | |
| 21 | 塩素酸 | 0.6 | 3ヶ月1回 | 3ヶ月1回 | 消毒副生成物 | | | | |
| 22 | クロロ酢酸 | 0.02 | | | | | | | |
| 23 | クロロホルム | 0.06 | | | | | | | |
| 24 | ジクロロ酢酸 | 0.03 | | | | | | | |
| 25 | ジブロモクロロメタン | 0.1 | | | | | | | |
| 26 | 臭素酸 | 0.01 | | | | | | | |
| 27 | 総トリハロメタン | 0.1 | | | | | | | |
| 28 | トリクロロ酢酸 | 0.03 | | | | | | | |
| 29 | ブロモジクロロメタン | 0.03 | | | | | | | |
| 30 | ブロモホルム | 0.09 | | | | | | | |
| 31 | ホルムアルデヒド | 0.08 | | | | | | | |
| 32 | 亜鉛及びその化合物 | 1 | 3ヶ月1回 | 一定要件を満たす場合は検査回数を減じることができる。*1 | 金属類 | | | | |
| 33 | アルミニウム及びその化合物 | 0.2 | | | | | | | |
| 34 | 鉄及びその化合物 | 0.3 | | | | | | | |
| 35 | 銅及びその化合物 | 1 | | | | | | | |
| 36 | ナトリウム及びその化合物 | 200 | | | | | | | |
| 37 | マンガン及びその化合物 | 0.05 | | | | | | | |
| 38 | 塩化物イオン | 200 | | | | 月1回 | 月1回 | 無機物質 | |
| 39 | カルシウム、マグネシウム等（硬度） | 300 | 3ヶ月1回 | 一定要件を満たす場合は検査回数を減じることができる。*1 | その他 | | | | |
| 40 | 蒸発残留物 | 500 | | | | | | | |
| 41 | 陰イオン界面活性剤 | 0.2 | | | | | | | |
| 42 | ジェオスミン | 0.00001 | 藻の発生時期に月1回 | 藻の発生時期に月1回 | 有機物質 | | | | |
| 43 | 2-メチルイソボルネオール | 0.00001 | | | | | | | |
| 44 | 非イオン界面活性剤 | 0.02 | 3ヶ月1回 | 一定要件を満たす場合は検査回数を減じることができる。*1 | | | | | |
| 45 | フェノール類 | 0.005 | | | | | | | |
| 46 | 有機物（TOC） | 3 | 月1回 | 月1回 | その他 | | | | |
| 47 | pH値 | 5.8～8.6 | | | | | | | |
| 48 | 味 | 異常でない | | | | | | | |
| 49 | 臭気 | 異常でない | | | | | | | |
| 50 | 色度 | 5度 | | | | | | | |
| 51 | 濁度 | 2度 | | | | | | | |

*1 基準値の1/10以下で水源に変動がない場合は3年に1回、1/5以下の場合は年1回に検査回数を減じることができる。

水質検査表（2） 1日1回行う検査

| | 1日1回行う検査項目 | 評価 |
|---|---------------|-----------|
| 1 | 色 | 異常なし |
| 2 | 濁り | 異常なし |
| 3 | 消毒の塩素効果（残留塩素） | 0.1mg/l以上 |

管理目標設定項目検査表（3）

| | 項目 | 目標値 |
|----|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 1 | アンチモン及びその化合物 | アンチモンの量に関して、0.02 mg/l以下 |
| 2 | ウラン及びその化合物 | ウランの量に関して、0.002 mg/l以下（暫定） |
| 3 | ニッケル及びその化合物 | ニッケルの量に関して、0.02 mg/l以下 |
| 4 | （項目削除）亜硝酸態窒素 | |
| 5 | 1,2-ジクロロエタン | 0.004 mg/l以下 |
| 6 | （項目削除）トランス-1,2-ジクロロエチレン | |
| 7 | （項目削除）1,1,2-トリクロロエタン | |
| 8 | トルエン | 0.4 mg/l以下 |
| 9 | フタル酸ジ（2-エチルヘキシル） | 0.08 mg/l以下 |
| 10 | 亜塩素酸 | 0.6 mg/l以下 |
| 11 | （項目削除）塩素酸 | |
| 12 | 二酸化塩素 | 0.6 mg/l以下 |
| 13 | ジクロロアセトニトリル | 0.01 mg/l以下（暫定） |
| 14 | 抱水クロラール | 0.02 mg/l以下（暫定） |
| 15 | 農薬類 | 検出値と目標値の比の和として、1以下 |
| 16 | 残留塩素 | 1 mg/l以下 |
| 17 | カルシウム、マグネシウム等（硬度） | 10 mg/l以上 100 mg/l以下 |
| 18 | マンガン及びその化合物 | マンガンの量に関して、0.01 mg/l以下 |
| 19 | 遊離炭酸 | 20 mg/l以下 |
| 20 | 1,1,1-トリクロロエタン | 0.3 mg/l以下 |
| 21 | メチル-tert-ブチルエーテル（MTBE） | 0.02 mg/l以下 |
| 22 | 有機物等（過マンガン酸カリウム消費量） | 3 mg/l以下 |
| 23 | 臭気強度（TON） | 3以下 |
| 24 | 蒸発残留物 | 30 mg/l以上 200 mg/l以下 |
| 25 | 濁度 | 1度以下 |
| 26 | pH値 | 7.5程度 |
| 27 | 腐食性（ランゲリア指数） | -1程度以上とし、極力0に近づける |
| 28 | 従属栄養細菌 | 2000個/ml以下（暫定） |
| 29 | 1,1-ジクロロエチレン | 0.1 mg/l以下 |
| 30 | アルミニウム及びその化合物 | アルミニウムの量に関して、0.1 mg/l以下 |
| 31 | ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA) | ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)の量の和として0.00005mg/l以下（暫定） |

5. 臨時の水質検査

次のような水質変化等が発生した場合は、直ちに水質検査を実施し、水質異常が終息して安全が確認されるまで行います。

- （1）水源に著しく変化が見られたとき。
- （2）水源に異常があったとき。
- （3）水源付近、給水区域及びその周辺等において消化器系感染症が流行しているとき。
- （4）浄水処理工程に異常があったとき。
- （5）配水管の大規模な工事その他水道施設が著しく汚染されたおそれがあるとき。
- （6）その他特に必要があると認められるとき。

6. 水質検査の方法

- (1) 検査方法については、「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法」に基づいて検査を行うものとする。
- (2) 1日1回行う検査項目
日高町地域経済課の職員で行います。
 1. 残留塩素の測定は残留塩素計で行います。
 2. 色、濁りは外観目視で行います。
- (3) 定期検査
厚生労働大臣の登録を受けた者に依頼して行います。
委託先：一般財団法人 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター
- (4) 試料の採取及び運搬方法
 1. 試料の採取については日高町地域経済課の職員が行いますが、臨時検査等にて受託者に採水を依頼する場合がありますので、採水時には受託者の法令で定められた検査員が採水を行うこととする。
 2. 運搬方法については採水終了後に試料をクーラーボックスに入れ保冷し、破損防止の措置を施し受託者が社用車で検査施設まで運搬することとする。
 3. 委託した検査の実施状況の確認方法
 - ① 検査結果のバックデータ（必要に応じて提出）
 - ② 内部・外部精度管理（毎年度の実施状況）
 - ③ 標準作業書等（必要に応じて提出）

7. 水質検査計画及び検査結果の公表

水質検査計画に毎事業年度の開始前に作成し、地域経済課窓口にて公表いたしますので、ご意見をお寄せください。

ご意見は今後の水質検査計画策定に当たり参考とさせていただきます。

検査結果を基に、必要に応じて検査計画を見直していきます。

水質検査結果についても、地域経済課窓口で公表します。

8. その他

- (1) 常に安全で満足してもらえる水道水を供給いたします。
 - (2) 水道水質の信頼性確保につとめます。
 - (3) 水道事故等が発生したときは、保健所・検査機関と連携し早期の復旧につとめます。
 - (4) 住民の疑問点・不明点につきましては早急に対応いたします。
-
- (1) 常に安全で満足してもらえる水道水を供給いたします。
 - (2) 水道水質の信頼性確保につとめます。
 - (3) 水道事故等が発生したときは、保健所・検査機関と連携し早期の復旧につとめます。
 - (4) 住民の疑問点・不明点につきましては早急に対応いたします。

お問い合わせ先 〒055-2301

沙流郡日高町本町東3丁目299番地の1
日高町 日高総合支所
地域経済課 地域経済グループ
TEL 01457-6-2024（地域経済課直通）